

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	身体介護中心の介護計画が作成されており、利用者の意向や思いが十分に反映されていない。利用者の意向に着目し、具体的な目標を設定した計画立案をする必要がある。	入居者の願いや意向がわかりやすく目標設定された介護計画書にしていく。	ニーズ欄をもっとシンプルにわかりやすくする。目標は具体的に、実現可能なものとする。	6ヶ月
2	4	ホームの掲げる目標達成計画を運営推進会議にて議題として加え、進捗状況を報告する等の取り組みができていない。	グループホームの目標、取り組みを運営推進会議に提案し、進捗状況を報告の上、外部の意見を上手く取り入れていく。	ホーム(ユニットごと)の目標を年度初めに掲げ、運営推進会議に進捗状況とともに報告し、外部の意見をユニット会議に報告していく。	3ヶ月
3	48	自立支援に留意して役割の提供を実践しているが、職員によって意識に差があり、充分とは言えない面がある。	各職員がそれぞれの入居者のニーズをしっかりと把握し、役割や生きがいとなる活動をもっと増やしていく。	ニーズや願い、意向をしっかりプランに記入し、各職員にしっかりと把握を促し、日々のケアに生かせるように職員教育を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。